1410876HA6501

ヒートポンプ式冷温水システム「エコヌクール ピコ・レオ」

形 名

VEH-304HCC-K, 406HCC-K, 507HCC-K, 712HCC-K〈熱交換ユニット：開放式〉
VEH-406HCC-M, 507HCC-M, 712HCC-M〈熱交換ユニット：密閉式〉
VEH-304HPC, 406HPC, 507HPC〈室外ユニット〉
VEH-304HPC-H, 406HPC-H/HL, 507HPC-H/HL〈室外ユニット：凍結防止ヒーター付〉
VEZ-20HT2〈バックアップヒーターユニット〉
VEZ-01RCC〈リモコン〉

取扱説明書

お客様用

- 販売店が試運転を行う際に立ち会っていただき、正しい使いかたの説明を受けてください。
- 販売店から保証書を受け取り、記入されていることを確認してください。（保証の際に必要です）
- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- 「取扱説明書」「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 次のようなマークで必要な情報を示しています。

〈お願い〉 正しく使っていただくための情報です。
お知らせ 使用上で知っておいていただきたい情報です。
知っとく情報 より便利にご使用いただくための情報です。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

■もくじ

お使いになる前に

使いかた

お手入れ・困ったとき

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		水場使用禁止
	水ぬれ禁止		指示に従う
	ぬれ手禁止		アース確認

警告

禁止

- **防錆循環液を幼児の手の届くところに置いたり、飲んだりしない**
  万一、飲んだ場合はすぐに吐かせて、医師の診察を受けてください。
- **床暖房運転時に床暖房の上で就寝しない**
  乳幼児・お子様・お年寄り・病気の方・からだの不自由な方・皮膚の弱い方・非常に疲れている方・深酒、睡眠薬を飲まれた方は、熱すぎても自分で調節ができないため、低温やけどを起こす原因になります。
- **床面温度を上げすぎない**
  水温及び床温キープ設定を正しく行う
  床材が薄い場合、高温の設定で長時間接触すると低温やけどを起こす原因になります。
- **指定冷媒（R410A）以外は使用（冷媒補充・入替え）しない**
  機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。
- **お客様自身で分解・改造・修理・移動再設置はしない**
  火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
- **吹出口や吸込口をふさいだり、指や棒などを入れない**
  内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。
- **殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない**
  火災の原因になります。
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない**
  万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、爆発の原因になります。

禁止

- **放熱器（床暖房・パネルヒーターなど）の上に直接、発火のおそれのあるライターやスプレー等を置かない**
  火災の原因になります。
- **台所など直接炎があたるおそれのある場所では使用しない**
  火災の原因になります。

水ぬれ禁止

- **製品を水につけたり、水をかけたりしない**
  ショートや感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

- **ぬれた手でスイッチを操作しない**
  感電の原因になります。

水場使用禁止

- **風呂、シャワー室では使用しない**
  火災や感電の原因になります。

アース確認

- **アースが取付けられているか確認する**
  故障や漏電のときに感電の原因になります。
  アースの取付けはお買上げの販売店または三菱電機 修理窓口にご相談ください。

指示に従う

- **異常時(こげ臭いなど)は運転を停止してブレーカーを切る**
  異常のまま運転を続けると火災の原因になります。
  販売店または三菱電機　修理窓口に点検・修理をご相談ください。

- **移動再据付け・修理する場合は、お買上げの販売店または三菱電機　修理窓口に相談する**
  不備があると、感電や火災などの原因になります。

⚠ 警告

指示に従う

- **暖まらない・冷えない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買上げの販売店または三菱電機　修理窓口に相談する**
  冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
  使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

- **室外ユニット内部の洗浄はお客様自身では行わず、必ずお買上げの販売店または三菱電機　修理窓口に相談する**
  誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
  また、洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になります。

指示に従う

- **長時間使用しないときは、分電盤ブレーカーを切る**
  絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
- **お手入れの際は運転を停止し、ブレーカーを切る**
  感電やけがの原因になります。

⚠ 注意

禁止

- **熱源機の上に乗ったりものを載せたりしない**
  落下・転倒によりけがの原因になります。
- **長期間使用で傷んだままの据付台などで使用しない**
  ユニットの落下につながり、けがなどの原因になります。
- **食品・動植物・精密機器・美術品の保存など、特殊用途には使用しない**
  品質低下または動植物への害の原因になります。
- **床暖房の上に釘や突起物を刺したり、固いものをぶつけたり、落としたりしない**
  床下の床暖房パネルの破損により水漏れや故障の原因になります。
- **壁に20㎜以上のくぎを打たない**
  壁内の水配管を傷つけ、水漏れの原因になります。

禁止

- **運転中や停止直後に給水口のふたをあけない**
  循環水が飛び散ってやけどの原因になります。

- **室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない**
  けがの原因になります。

- **直接風のあたる所に動植物を置かない**
  動植物に悪影響をおよぼす原因になります。
- **消臭剤、芳香剤などを吹き付けない**
  製品内部の部品が腐食し、故障の原因になります。

指示に従う

- **お手入れの際は手袋を着用する**
  着用しないとけがの原因になります。

- **閉め切った部屋で目が痛くなる場合は換気をする**
  ホルムアルデヒドなどによる体調不良の原因になります。
  換気をしてください。

お願い

- **製品に殺虫剤などをかけないでください。**
  プラスチック部品は変質・変形し故障の原因になります。塗装部品は塗装がはがれて錆などの原因になることがあります。
- **リモコンコードが高温部分に触れないようにしてください。**
- **リモコンコードが鋭い角部に触れないようにしてください。**
- **防錆循環液のかわりに水や、自動車用不凍液を使用しない。**
  循環液には 三菱防錆循環液　希釈不要タイプ
  （VPZ-01KX-ECO,VPZ-10KX-ECO,VPZ-18KX-ECO）を必ず使用してください。
  水や指定外循環液を使用すると防錆効果が異なり、機器の故障やシステム寿命低下の原因となります。

安全のために必ず守ること　つづき

■使用上のご確認内容

■ 本システムは、日本国内の一般家庭、福祉施設、保育園およびそれらに類する施設における温水床暖房用・冷温水ふく射空調用を目的に設計されたものです。これらの目的以外の用途で使用された場合は保証の対象外となります。

保証外用途例	具体例
農業用	ビニールハウス　など
融雪用	ロードヒーティング　など

保証外用途例	具体例
家畜用	牛舎、豚舎　など
保管用	食品、動植物、精密機械、美術品の保管　など

※その他特殊用途や非対人用途も保証の対象外となります。

■ 下記環境の地域でご使用ください。

VEH-304HCC-K	平年の最低外気温度が－15℃以上の地域
VEH-406HCC-K/M VEH-507HCC-K/M VEH-712HCC-K/M	平年の最低外気温度が－25℃以上の地域 （－20℃以下の発生頻度が年間50時間程度を考慮した製品のため、それを超えるような長時間低温が続く環境下ではご使用になれません。）

■ 最低外気温度が－10℃（目安）を下回る地域では、凍結防止ヒーター付の室外ユニットを選定してください。
外気温度に関わらず、湿度が高く凍結しやすい地域や降雪量の多い地域では、凍結防止ヒーター付の室外ユニットを選定してください。

■ 外気温度が－15℃を下回る地域でご使用の場合は、熱交換ユニットを屋内に設置してください。

■VEH-406HCC-K/M，507HCC-K/M，712HCC-K/Mは、外気温度が－20℃を下回る場合は必ず連続運転でご使用ください。
（外気温度がおよそ－20℃を下回った状態から運転を開始しようとすると室外ユニット保護のため、室外ユニットは運転しません）

■ 循環液は必ず当社指定の三菱防錆循環液　希釈不要タイプをご使用ください。
三菱防錆循環液　希釈不要タイプ：VPZ-01KX-ECO、VPZ-10KX-ECO、VPZ-18KX-ECO

■ 最大適用畳数を超える空調面積では使用しないでください。

■ 本システムは、冷温水回路を単独で使用するように設計されています。下記のような使い方はできません。
- 外付けポンプを接続する。
- 複数台のエコヌクールを1つの冷温水回路に接続する。
- 冷温水回路の途中で他の加熱・冷却熱源（石油ボイラーやガスボイラーなど）を接続する。
（オプションのバックアップヒーターユニットを除く）

■ 冷房運転と暖房運転を同時に行うことはできません。
冷房運転には、冷水にて冷房を行う放熱器（他社製品）が必要です。
また、冷房運転時に暖房用放熱器に冷水を流さないようにしてください。

■ 簡易（パネルヒーター）システムの場合
リモコンにて停止設定またはタイマー運転による運転停止設定時は、放熱器の運転操作をしても、熱源機は停止のままで暖房運転・冷房運転できません。まずリモコンにて運転設定をしてください。

■ 複数のお部屋を同時に運転すると、目標室温に到達するまでに時間がかかる場合があります。
運転開始する時間をずらしてお使いいただくことをおすすめします。

■ 停電があった場合、停電前の状態に自動復帰します。
ただし停電状態が長期間続く場合は時刻はリセットされ、タイマー運転時は停止の状態になります。
あらためて時刻を設定してください。

■ バックアップヒーターユニット（オプション品）の運転について
室外ユニット（ヒートポンプ）のみで暖房能力が不足する場合にバックアップヒーターユニットを運転します。
運転時はバックアップヒーターユニット下面の運転ランプが点灯します。
また、リモコンに「ヒーター運転中」と表示されます。

■ 熱交換ユニット開放式（VEH-304HCC-K，406HCC-K，507HCC-K，712HCC-K）を屋内で利用の場合、防錆循環液の蒸発により熱交換ユニットからにおいが発生するおそれがあります。
換気扇などで排気をお願いします。

便利に使いたい！3つのポイント

ヒートポンプ式冷温水システムは、暖房中に温水温度を25～55℃程度の中低温水にして暖房運転を行います。
高温となる石油・ガスのボイラー熱源にくらべ放熱器の表面温度はあまり高くなりません。
ただし、床暖房システムなどで長時間皮膚を接触させていると、低温やけどになるおそれがあるのでご注意ください。

ポイント1 好みに合わせて使いたい

■夏期や冬期では連続運転をおすすめします。

▶ 通常運転 P.9

■室温設定は暖房時22℃以下、冷房時26℃以上をおすすめします。

床暖房システムのみ
▶ 室温調節 P.10

■水温設定は「自動」設定をおすすめします。

室温、水温は暖房運転で高くするほど（冷房運転時は低くするほど）、より多くの電力を使います。水温設定を「自動」設定にすることで冷暖房負荷に合わせて水温を自動調節します。
ただし、下記のような場合では、暖房運転で水温が高くなりやすい（冷房運転時は低くなりやすい）ため、「手動」設定で低めの設定温度（冷房運転時は高めの設定温度）からご利用いただき、冷暖房感が得られにくい場合は、設定温度を徐々に高く（冷房運転時は徐々に低く）していくことをおすすめします。

- お部屋の面積に対して、放熱器が極端に小さい場合。
- お部屋の一部の放熱器のみを運転する場合。（LDKでリビングのみ利用する場合など）

自動と手動で水温を調節する
▶ 水温調節 P.11

お知らせ
本システムのみで十分な冷暖房感が得られない場合は、補助冷暖房機器をご利用ください。

■より快適な使いかたをお教えします。

▶ もっと暖めたい・冷やしたい P.16

ポイント2 経済的に使いたい

■"ひかえめ運転"が経済的です。

「ひかえめ運転」は設定温度より暖房運転では下げて（冷房運転では上げて）運転し、運転にかかる消費電力を抑えます。

- お部屋が暖まりにくい、冷えにくいときは、“通常運転”に切替えてお使いください。

目的に合わせて運転する
▶ ひかえめ運転 P.10

■システムで使用した電気代を確認できます。

使用した電気代の目安を表示できます。

使用した電気代の目安を確認する
▶ 電気代表示 P.16

■より省エネになる使いかたをお教えします。

▶ もっと節電したい P.16

ポイント3 生活リズムで使いたい

■タイマー運転が便利です。

毎日くりかえす運転パターンを、30分単位で自由に設定することができます。
2つのタイマーパターンを設定できます。季節や住まい方に応じて使い分けできます。

- ご利用の１～2時間くらい早めの運転をおすすめします。

暖房運転時の暖かい日中（冷房運転時の涼しい時間帯）や外出中は、運転を停止したい。	▶ 設定した時間帯で運転を入／切します。
暖房運転時の寒い朝晩（冷房運転時の暑い日中）は通常運転、外出中はひかえめ、就寝中は停止したい。	▶ 通常運転とひかえめ運転、運転停止を切替えます。

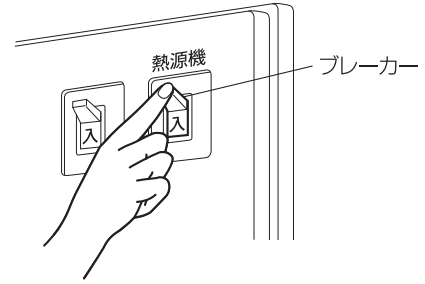
時間帯を決めて運転する
運転内容を切替える
▶ タイマー運転 P.13

運転前の準備

長期間ご使用されていなかった場合、運転開始までに下記の手順に従って確認してください。

■分電盤の専用ブレーカーが「入」になっているか確認する

お知らせ

●バックアップヒーターユニットが据付けされている場合は、バックアップヒーターユニット用ブレーカーも「入」にしてください。

■リモコンに「エラーコード」や、「注意」が表示されていないか確認する

- 「こんな表示がでたら」P.22

■熱交換ユニットの防錆循環液を確認する

【開放式 VEH-△△△HCC-K の場合】

シスターンタンクの給水口キャップをはずし、適正水位か確認する。

防錆循環液の確認 P.24

【密閉式 VEH-△△△HCC-M の場合】

圧力計の指示値が50kPa～80kPaの範囲にあるか確認する。

圧力計の指示値の確認 P.24

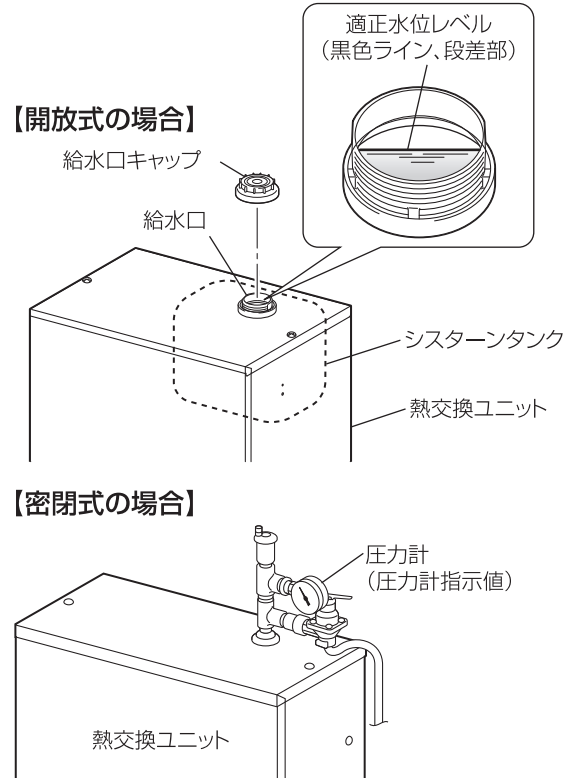
■熱交換ユニットや配管の接続部に水漏れがないか確認する

お願い

防錆循環液の水漏れに気付いても、お客様での修理・分解はおやめください。

●防錆循環液の水漏れに気付いたときは運転をいったん停止してください。
●ブレーカーを「切」にし、お買上げの販売店にご相談ください。

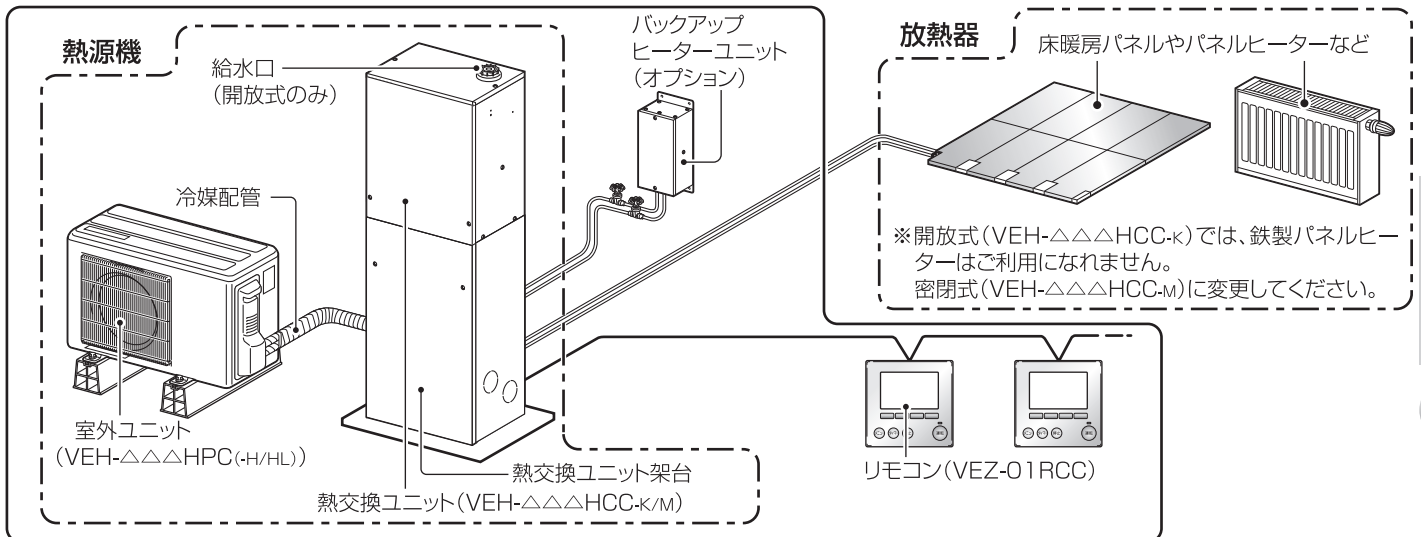
お知らせ

ご使用の前に、リモコン前面の保護シート（透明）をおはがしください。

各部のなまえ

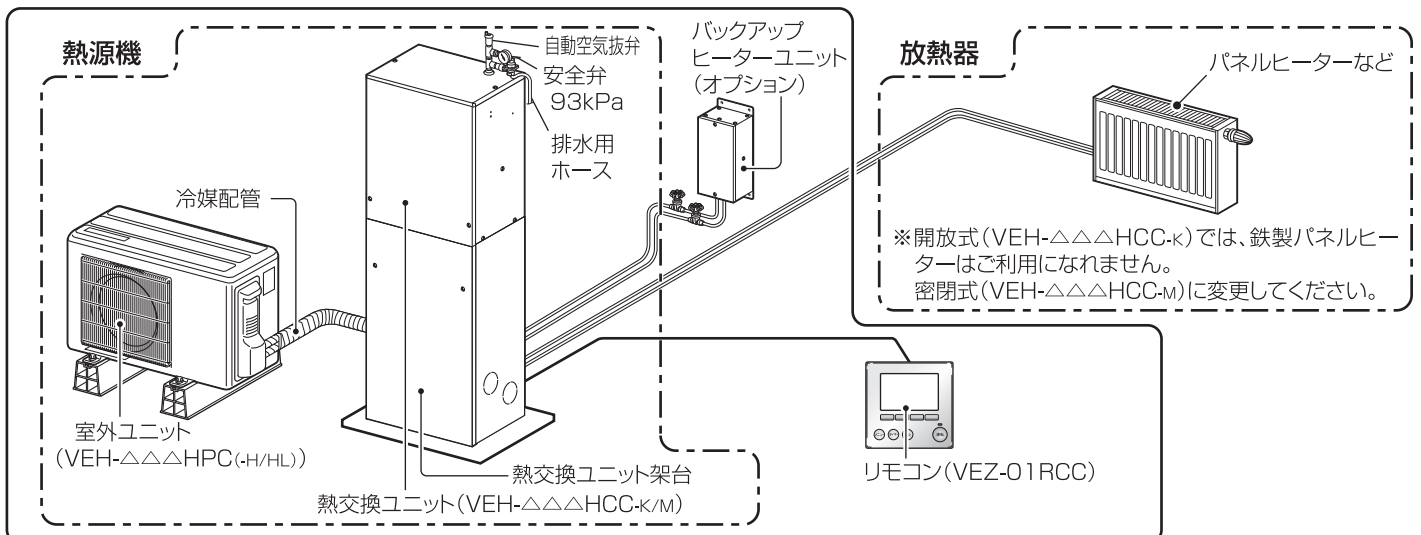
ヒートポンプ式冷温水システムには「床暖房システム」と「簡易（パネルヒーター）システム」の2種類があります。
リモコンの機能は使用されるシステムによって異なります。
運転させたときのリモコンの表示部でシステムを確認できます。

システム	床暖房システム		簡易（パネルヒーター）システム	
	暖房のみ	暖房・冷房	暖房のみ	暖房・冷房
表示部	12：00 設定室温 22℃ 通常 自動 モード ▼ 室温 ▲ 水温 ・「設定室温」が表示されます。	12：00 暖房 設定室温 22℃ 通常 自動 モード ▼ 室温 ▲ 水温 ・「設定室温」が表示されます。 ・「暖房」「冷房」が表示されます。	12：00 設定水温 50℃ 通常 モード ▼ 水温 ▲ ・「設定水温」が表示されます。	12：00 設定水温 50℃ 通常 暖房 モード ▼ 水温 ▲ 冷/暖 ・「設定水温」が表示されます。 ・「暖房」「冷房」が表示されます。

床暖房システムの場合

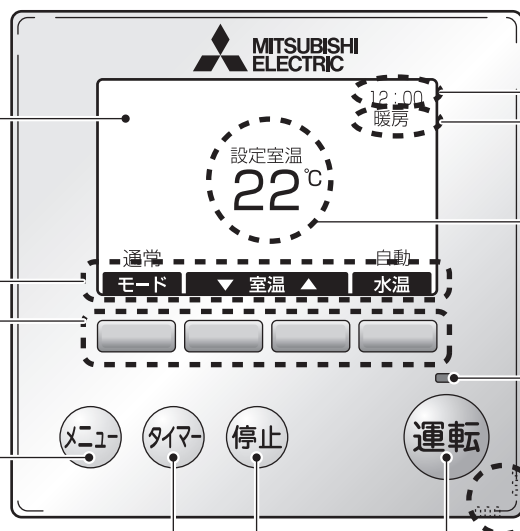
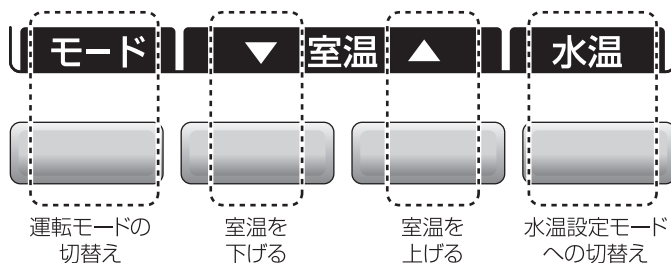
各リモコンで、運転と停止、室温または温水/冷水温度の調節を行います。

※システム構成の一例ですので、ご使用のシステムと異なる場合があります。
※VEH-712HCC-K/Mの場合、室外ユニットを2台使用します。

簡易（パネルヒーター）システムの場合

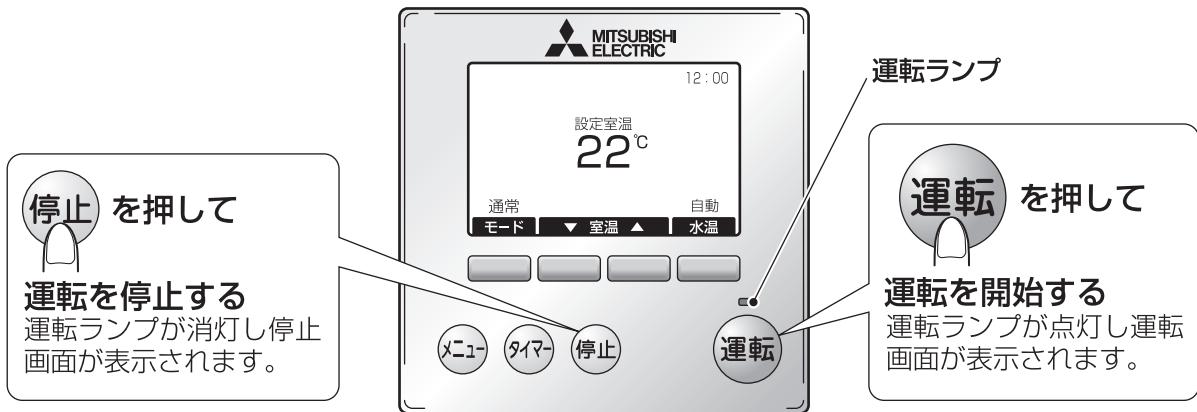
1つのリモコンで、運転と停止、温水/冷水温度の調節を行います。

※システム構成の一例ですので、ご使用のシステムと異なる場合があります。
※簡易（パネルヒーター）システムで使用される場合は、バイパス部材の設置が必要になります。
　お買上げの販売店にご確認ください。（開放式のみ）
※VEH-712HCC-K/Mの場合、室外ユニットを2台使用します。

リモコンの使いかた

■ リモコンのボタンと画面表示

※表示部は表示例です。

■主な機能

			機能の説明
通常運転	室温調節		お好みに合わせて室温を調節します。
	水温調節	手動	お好みに合わせて水温を調節します。
		自動	自動設定は冷暖房負荷に合わせて水温を自動調節します。 水温を自動調節することで、省エネ運転になります。 「自動1」と「自動2」の2つのモードを好みに合わせてお使いください。
ひかえめ運転			通常運転で設定した温度から、暖房運転では低く、冷房運転では高く運転することで省エネ運転します。 （画面上の設定温度は変化しません）
タイマー運転			タイマー運転は、設定された内容で毎日くり返し運転します。 通常運転、運転停止、ひかえめ運転を30分単位で設定できます。

運転の開始と停止のしかた

お知らせ

- 運転時に外気温度が−25℃を下回っている場合は運転ランプを点滅させてお知らせします。（室外ユニットが停止する場合があります）

一括運転・一括停止（床暖房システムのみ）

リモコンが複数台設置されている床暖房システムで、1つのリモコンで 運転 または 停止 を3秒以上押し続けることで、他のリモコンを一括で運転を開始または停止にすることができます。

- 一括運転の操作が設定されると、画面上部に「すべての部屋の運転を開始します」と表示されます。
- 一括停止の操作が設定されると、画面上部に「すべての部屋の運転を停止しました」と表示されます。

一括運転したときの表示例

知っとく情報

外出時にすべての部屋の運転を停止したい場合や、帰宅時にすべての部屋の運転を開始したい場合に便利です。

お知らせ

- 一括運転または一括停止した場合は、タイマー運転は解除されます。
- ［メニュー］画面を表示していた場合は、画面は切替わりませんが、運転または停止となります。

床暖房システム		簡易（パネルヒーター）システム		ページ
暖房運転	冷房運転	暖房運転	冷房運転	
調節範囲：8〜30℃	調節範囲：8〜30℃	調節機能なし	調節機能なし	P.10
調節範囲：35〜55℃（60℃）	調節範囲：7℃〜25℃	調節範囲：25〜55℃（60℃）	調節範囲：7〜25℃	P.11
自動1：冷暖房負荷により水温を自動調節。（省エネ運転） 自動2：「自動1」より水温を暖房運転時は5℃低く（冷房運転時は3℃高く）運転。（「自動1」より省エネ運転） ※室内の暖まり方や冷え方は、「自動2」の方が遅くなりますので、タイマー運転をご活用ください。			自動：冷房負荷により水温を自動調節	
設定**室温**より3℃低く運転	設定**室温**より3℃高く運転	設定**水温**より5℃低く運転	設定**水温**より3℃高く運転	P.10
設定を記録できる運転パターンは2つです。（タイマー1、タイマー2）				P.13

<室温調節>

室温を調節する（床暖房システムのみ）

お好みに合わせて室温を調節します。
初期設定（工場出荷時）は20℃に設定されています。

1 運転画面で

- 設定できる温度の範囲は8～30℃です。
- 冷暖房負荷によっては設定温度に達しない場合があります。

知っとく情報

おすすめの設定室温は暖房時18～22℃、
冷房時26～28℃です。

お願い

- **床暖房では床面温度を上げすぎると、長時間床面に触れたときに低温やけどになるおそれがありますので、設定室温を上げすぎた場合、画面上に注意文が表示されます。**
- **実際に床面が熱くなりすぎた場合、床温が高温になることを防ぐ機能がはたらきます。（床温過昇防止機能 P.18）**

お知らせ

運転画面で設定室温が「不要」と表示されるリモコンでは室温調節はできません。
運転時は常時送水の状態となります。（据付工事時に設定します）
※設定を変更したい場合は、お買上げの販売店またはお近くの三菱電機　修理窓口にご相談ください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）

<ひかえめ運転>

通常運転とひかえめ運転を切替える

通常運転で設定した温度から、暖房運転では低く、冷房運転では高く運転することで省エネ運転します。

1 運転画面で モード を押す

ひかえめ運転に切替わります。
運転画面の左下の「通常」が「ひかえめ」に切替わります。

ひかえめ運転で調節される温度設定

システム	温度設定
床暖房システム	暖房時：設定**室温**より3℃低く運転します。
	冷房時：設定**室温**より3℃高く運転します。
簡易（パネルヒーター）システム	暖房時：設定**水温**より5℃低く運転します。
	冷房時：設定**水温**より3℃高く運転します。

お知らせ

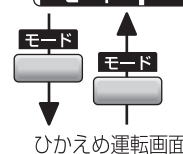
- ひかえめ運転で快適な温度にならない場合は通常運転に切替えてください。

2 ひかえめ運転時に モード を押す

通常運転に切替わります。
運転画面の左下の「ひかえめ」が「通常」に切替わります。

知っとく情報

運転する時間を決めて通常運転とひかえめ運転を切替えると経済的です。（タイマー運転 P.13）

<水温調節>

水温を調節する

通常運転で寒いとき／暑いときに熱源機の水温を調節します。
「自動」設定では、冷暖房負荷に合わせて水温を自動調節します。水温を自動調節することで、省エネ運転になります。
「自動1」と「自動2」の2つのモードを好みに合わせてお使いください。

自動1	冷暖房負荷に応じて、水温を自動調節することで省エネ運転をします。
自動2	自動1より水温を暖房運転時は5℃低く（冷房運転時は3℃高く）運転します。 （室温の暖まり方・冷え方は「自動1」より遅くなります。タイマー運転をご活用ください）

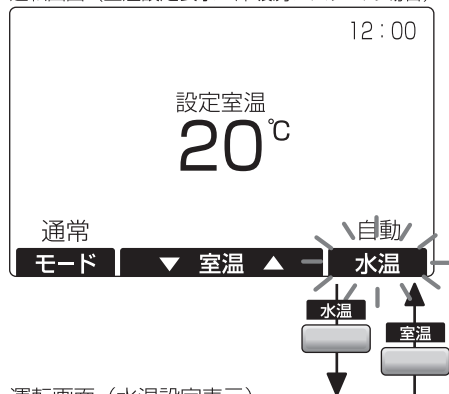
初期設定（工場出荷時）は「自動1」に設定されています。

1 運転画面で 水温 を押す

水温設定表示に切替わります。

お知らせ

- 簡易（パネルヒーター）システムの場合は運転画面が水温設定画面になっています。
- 床暖房システムの場合はボタンを押さないままでいると16秒後に室温設定表示に自動で切替わります。

運転画面（室温設定表示：床暖房システムの場合）

2 ▼ または ▲ を押して水温を調節する

お知らせ

■ 設定できる水温の範囲と変更方法

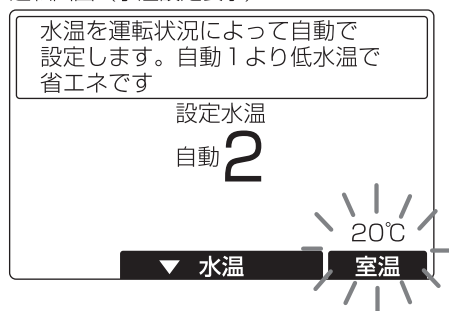
暖房運転

	床暖房システム	簡易（パネルヒーター）システム	変更方法
自動設定	自動2 自動1	自動2 自動1	▲または▼を押して変更します。 自動設定と手動設定の切替えは、「自動1」で▼を押すと手動設定になります。 「55℃（60℃※）」で▲を押すと自動設定になります。
手動設定	55℃（60℃※） ～ 35℃	55℃（60℃※） ～ 25℃	

※60℃設定は据付工事時に設定します。

冷房運転

	床暖房システム	簡易（パネルヒーター）システム	変更方法
手動設定	25℃ ～ 7℃	25℃ ～ 7℃	▲または▼を押して変更します。 自動設定と手動設定の切替えは、「7℃」で▼を押すと自動設定になります。 「自動1」または「自動」で▲を押すと手動設定になります。
自動設定	自動1 自動2	自動	

運転画面（水温設定表示）

水温調節を40℃にした例

■室温設定表示への切替え

水温設定表示で 室温 を押す

室温設定表示に切替わります。

お知らせ

- 複数のリモコンをご使用の場合、最後に水温を調節したリモコンの設定水温で運転します。
- 室温が高い状態でさらに水温を高く設定すると、床温が高温になることを防ぐ機能がはたらく場合があります。（床温過昇防止機能 P.18）
  室温が高い場合は水温設定を「自動」設定（自動1、2）か「手動」設定で低め（40℃以下）に設定してください。

暖房運転と冷房運転を切替える

お願い

- **冷房機能を使用される場合は、冷水にて冷房を行う放熱器（他社製品）が必要です。**
  （暖房用パネルヒーターや床暖房パネルに冷水を流さないでください）

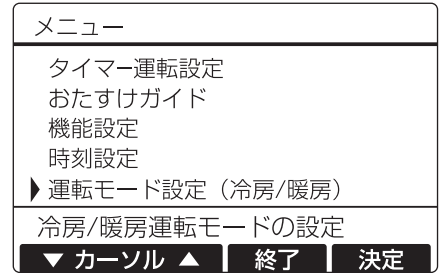
床暖房システムの場合

冷房機能があるシステムのみ設定できます。
冷房運転の開始は、冷房用放熱器に接続されているリモコンからの操作となります。

1 停止画面で メニュー を押す

［メニュー］画面が表示されます。P.16

▼ または ▲ を押して「運転モード設定（冷房/暖房）」を選択し、決定 を押す

［運転モード設定（冷房/暖房）］画面が表示されます。

2 運転するモードを選択する

① ◀▶ を押して運転モードを選択する

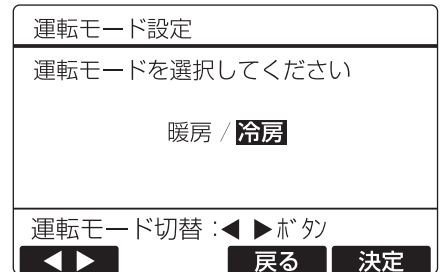
② 決定 を押す

選択した運転モードに切替わります。

お知らせ

- すべてのリモコンで運転を停止しないと、運転モードの切替えができません。（一括停止 P.9）

3 運転 を押して運転モードが切替わっていることを確認する

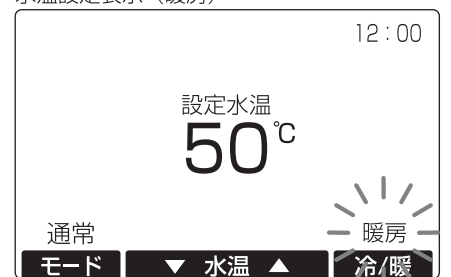
12：00
冷房
設定室温
20℃
通常　自動
モード　▼ 室温 ▲　水温

お知らせ

下記の状態になった場合は、再度切替操作をしてください。
- 別々のリモコンから、暖房/冷房切替と運転操作が行われると、暖房/冷房切替内容と異なる場合があります。
- 停止直後に「運転モード設定（暖房/冷房）」を選択すると、「全てのリモコンを停止してから運転モードを切替えてください」と表示される場合があります。

簡易（パネルヒーター）システムの場合

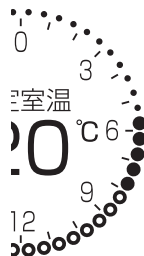
冷房機能のある簡易（パネルヒーター）システムで暖房運転と冷房運転を切替えます。
冷房機能のないシステムでは 冷/暖 が表示されません。
（冷房機能の設定は据付工事時に設定します）

1 運転画面で 冷/暖 を押す

水温設定表示（冷房）に切替わります。

2 運転モードが切替わっていることを確認する

<タイマー1,タイマー2>

タイマー運転のしかた

タイマー運転は設定された内容で毎日くり返し運転します。通常運転、運転停止、ひかえめ運転を30分単位で設定できます。設定できる運転パターンは2つです。（タイマー1,タイマー2）

タイマー を押してタイマー運転を開始する

ボタンを押すごとにタイマー1とタイマー2が切替わる

タイマー運転中は運転ランプが点灯します。

停止 を押して

運転を停止する

運転ランプが消灯し停止画面が表示されます。

お知らせ

- 通常運転またはひかえめ運転時に外気温度が－25℃を下回っている場合は運転ランプを点滅してお知らせします。（室外ユニットが停止することがあります）

タイマー運転中の表示例

タイマー2を下記のように設定したときの、画面表示例です。

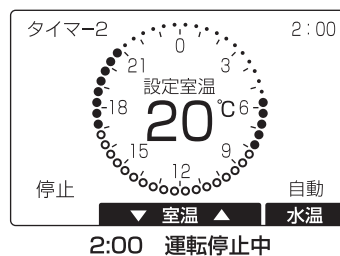
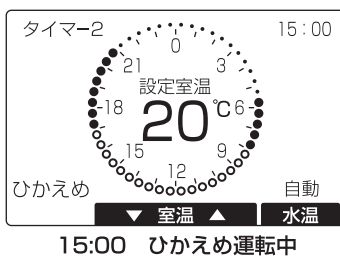
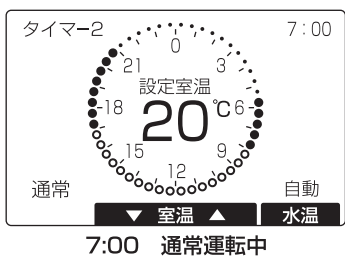
設定内容

時間	運転内容
5:30 ～　8:00	通常運転
8:00 ～ 17:00	ひかえめ運転
17:00 ～ 21:00	通常運転
21:00 ～　5:30	運転停止

左の設定内容では、例えば冬期など外気温度の低い朝夕に通常運転、外出中はひかえめ運転。就寝中は運転停止といった生活サイクルに合わせて運転しています。

7:00　通常運転中

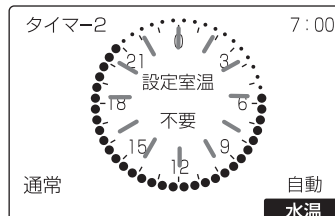
15:00　ひかえめ運転中

2:00　運転停止中

知っとく情報

- ご利用の１～2時間くらい早めの運転をおすすめします。

お知らせ

タイマー運転画面で設定室温が「不要」と表示されるリモコンでは室温調節はできません。
運転時は常時送水の状態となります。（据付工事時に設定します）

※ 設定を変更したい場合は、お買上げの販売店またはお近くの三菱電機 修理窓口にご相談ください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）

<タイマー運転設定>

好みに合わせてタイマーを設定する

タイマー設定できる運転パターンは2つです。（タイマー1、タイマー2）

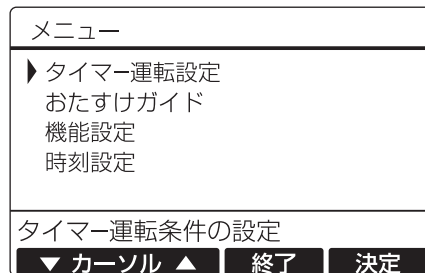
1

(メニュー) を押す

［メニュー］画面が表示されます。P.16

▼ または ▲ を押して「タイマー運転設定」を選択し、決定 を押す

［タイマー運転設定］画面が表示されます。

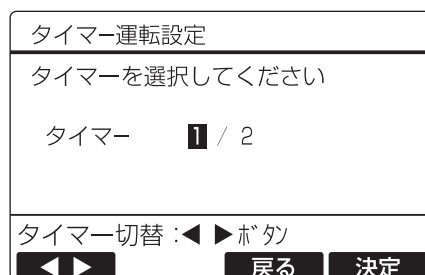
メニュー
▶タイマー運転設定
おたすけガイド
機能設定
時刻設定
タイマー運転条件の設定
▼ カーソル ▲ | 終了 | 決定

2

設定するタイマーを選択する

① ◀▶ を押してタイマー1とタイマー2を切替える

② 決定 を押す

選択したタイマーの設定状態が表示されます。

タイマー運転設定
タイマーを選択してください
タイマー　1 / 2
タイマー切替 :◀ ▶ﾎﾞﾀﾝ
◀ ▶ | 戻る | 決定

タイマー1の初期設定

設定内容

時間	運転内容
5:30 ～　8:00	通常運転
8:00 ～ 17:00	運転停止
17:00 ～ 21:00	通常運転
21:00 ～　5:30	運転停止

タイマー2の初期設定

設定内容

時間	運転内容
5:30 ～　8:00	通常運転
8:00 ～ 17:00	ひかえめ運転
17:00 ～ 21:00	通常運転
21:00 ～　5:30	運転停止

3

タイマーの内容を設定する

① もどる または すすむ を押して時間を合わせる

② 選択 を押して運転状態を切替える

③ ①と②を繰り返し24時間分を設定する

運転状態の点滅表示している部分を移動させて設定する時間を切替えます。

運転状態の点滅表示の移動に合わせて画面中央の時刻の表示も切替わります。

運転状態は 選択 を押すごとに切替わります。

→ 通常運転「●」→ ひかえめ運転「○」→ 運転停止「・」→

タイマー2
0 3 6 9 12 15 18 21
7:00
・停止
●通常
○ひかえめ
選択 ▼ | もどる　すすむ | 決定

お知らせ

- 現在時刻を設定しないとタイマー運転ができません。P.20
- 初めてタイマー設定をするときは0:00の運転状態が点滅表示します。2回目以降は最後に変更した場所の運転状態が点滅表示します。

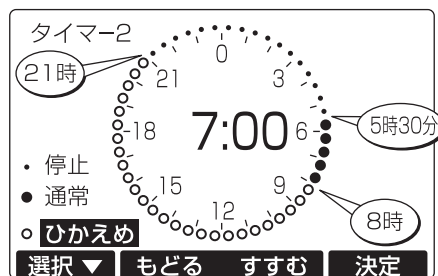
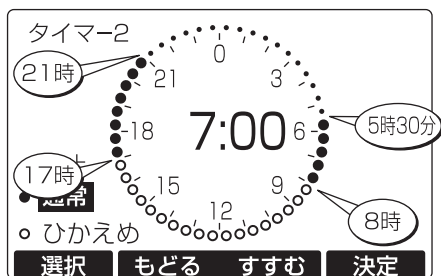
3 設定変更の例

タイマー2の初期設定を右図のように変更します

タイマー2の初期設定

時間	運転内容
5:30 ～ 8:00	通常運転
8:00 ～ 17:00	ひかえめ運転
17:00 ～ 21:00	通常運転
21:00 ～ 5:30	運転停止

変更したい内容

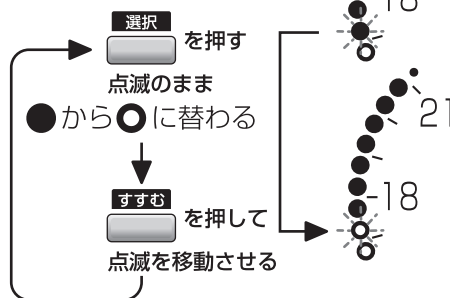
時間	運転内容
5:30 ～ 8:00	通常運転
8:00 ～ 21:00	ひかえめ運転
21:00 ～ 5:30	運転停止

運転状態を変更する

① もどる または すすむ を押して時間を合わせる

運転状態の点滅表示が右図の位置にくるまで数回ボタンを押します。

② 選択 を1回押してひかえめ運転に切替える

③ すすむ を1回押して点滅をひとつ移動させる

運転状態の点滅表示が21時の手前位置にくるまで②と③を繰り返します。

4 決定 を押して内容を保存する

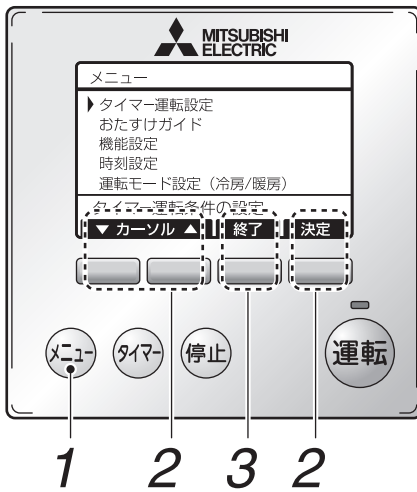
タイマー内容を保存し、［タイマー運転設定］画面に戻ります。

戻る を押すと［メニュー］画面に戻ります。P.16

お知らせ

- 設定の途中で約10分間ボタン操作がない場合、自動で設定を終了します。（メニュー を押す前の画面に戻ります）
  設定途中の内容は保存されませんので、再度設定を行ってください。
- 設定の途中で メニュー を押すと設定途中の内容を保存せず、［メニュー］画面に戻ります。

メニュー画面から選んで設定する

メニュー画面

1 (メニュー) を押す

[メニュー]画面が表示されます。

2 ▼ または ▲ で設定する項目を選択し、決定 を押す

各種の設定項目を表示します。
このメニュー表を参考に、設定を行ってください。

- 前の画面に戻すには 戻る を押してください。

（戻る がない場合は (メニュー) を押してください）

3 終了 を押す

[メニュー]画面を終了します。

お知らせ

- 設定の途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動で設定を終了します。((メニュー) を押す前の画面に戻ります)
  設定途中の内容は保存されませんので、再度設定を行ってください。
- 設定の途中で (メニュー) を押すと設定途中の内容を保存せず、[メニュー]画面に戻ります。

メニュー

メニュー	項目	内容
タイマー運転設定	タイマー 1、2	お客さまの好みに合わせてタイマーを設定します。タイマーを設定できる運転パターンは 2 つです。
おたすけガイド	電気代が知りたい（電気代表示）	ヒートポンプシステムが消費した電力を電気代と CO_2 排出量に換算し、日数で累計した値を表示します。 ● 電気代、CO_2 排出量の値は目安です。 ● カウント中の値を保存すると、カウントしていた値は「最新」に保存され、カウント中の値は初期化されます。
	もっと暖めたい・冷やしたい	現在の運転状況や設定内容から、より快適な室内環境にするための設定方法をアドバイスします。「よく暖まらない」または「よく冷えない」とお感じになった時にご覧ください。
	もっと節電したい	現在の運転状況や設定内容から、より省エネになる設定方法をアドバイスします。
	こんなときどうする	よくあるお問合わせの内容を表示します。わからない事があった場合にご覧ください。

お知らせ（電気代が知りたい）

- 電気代単価の初期設定（工場出荷時）は 27 円／kWh、CO_2 排出係数は 0.400kg／kWh です。

※ 電気代単価を電力会社との契約にあわせて設定を変更したい場合は、お買上げの販売店またはお近くの三菱電機 修理窓口にご相談ください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）

● 設定方法は、[14 ページ] をご覧ください。

● 「電気代」「CO_2 量」「記録した日数」が確認できます。

電気代表示画面

次頁 または 前頁 を押すごとに画面が切替わります。

● カウント中の値を保存する場合

電気代保存画面

① 保存 を押す。 ([電気代保存] 画面が表示)

② 決定 を押す。

カウント中の値を保存します。([電気代表示] 画面に戻る)

お知らせ

- 保存できる件数は 6 件です。
- 6 件を超えて保存すると、古い記録から削除されます。
- 決定 を押さないとカウント中の値は保存されません。

[もっと暖めたい] アドバイス例

もっと暖めたい

設定水温が低いと、お部屋が暖まりにくくなります

設定水温を上げてください

戻る

● 冷房運転時は「もっと冷やしたい」と表示されます。

[もっと節電したい] アドバイス例

もっと節電したい

水温が高く設定されています

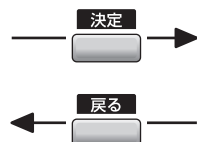
メニューを終了して、設定水温を下げるか、「自動」に設定すると節電になります

戻る

● カーソルで選んだ内容の画面が表示されます。

こんなときどうする?

▶ 「循環液の不足」の表示が出た
室外機から水や水蒸気が出た
過去のエラーを知りたい
その他の不具合の連絡先

▼ カーソル ▲ 戻る 決定

(例) [循環液の不足] の表示が出た

「循環液の不足」の表示が出た

専用の防錆循環液が必要です
お買上げの販売店にご連絡下さい
販売施工店連絡先 **********
三菱電機修理窓口 0120568634

くわしくは説明書をご覧ください

戻る

メニュー画面から選んで設定する　つづき

メニュー画面

1 メニュー を押す

[メニュー]画面が表示されます。

2

で設定する項目を選択し、決定 を押す

各種の設定項目を表示します。
このメニュー表を参考に、設定を行ってください。

- 前の画面に戻すには 戻る を押してください。

（戻る がない場合は メニュー を押してください）

3 終了 を押す

[メニュー]画面を終了します。

お知らせ

- 設定の途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動で設定を終了します。（メニュー を押す前の画面に戻ります）
  設定途中の内容は保存されませんので、再度設定を行ってください。
- 設定の途中で メニュー を押すと設定途中の内容を保存せず、[メニュー]画面に戻ります。

メニュー

機能設定

パワーセーブ運転

室外ユニットの出力を抑えたいときに設定します。（出力を抑えることで、消費電力を抑え運転音が低減する場合があります。ただし、暖まりに時間がかかる場合があります）

初期設定（工場出荷時）は「無効」に設定されています。

ヒーター長時間運転中　表示リセット

バックアップヒーターユニットの 1 日の稼働時間の合計が 10 時間以上になると、自動的に「ヒーター長時間運転中」とリモコンに表示されます。
（バックアップヒーターユニットが据付けられていない場合は表示されません）

お願い

バックアップヒーターユニットが長時間運転する要因には下記のものがあります。
- 積雪により、室外ユニットの吸込口や吹出口周辺がふさがれて能力が低下している場合。（雪の除去が必要）
- 室外ユニットの吸込口や吹出口周辺に障害物を置いて能力が低下している場合。（障害物の除去が必要）

液晶コントラスト

リモコン画面の液晶表示の濃淡（コントラスト）を調整します。

知っとく情報

液晶画面のちらつきや残像感が気になる方は、濃淡を薄めに調整することをおすすめします。

床温キープ（床保温レベル）

室温が設定室温を超えたとき、床温を適度な温度に保てるようにコントロールします。
お好みに合わせて保温レベルを設定してください。
（床暖房システムのみ）

床温過昇防止機能

設定水温や設定室温が高めの場合、床温が上がりすぎるおそれがあります。床温が上がりすぎないように、床暖房パネルへの送水を自動的に調節します。
初期設定（工場出荷時）は「有効」に設定されています。

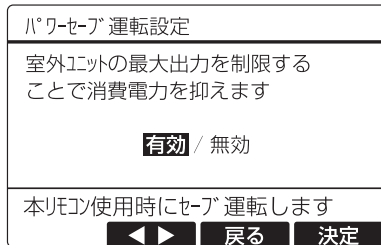
お願い

- 高温になった床面に長時間接触していると低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
  床温過昇防止機能は「有効」をおすすめします。

- パワーセーブ運転設定を「有効」にしたリモコンで運転 または タイマー を押した場合に機能します。
- 運転中は「パワーセーブ」と表示されます。（停止中はパワーセーブ運転しません）

画面表示例

- 設定方法

パワーセーブ運転設定
室外ユニットの最大出力を制限することで消費電力を抑えます
有効 / 無効
本リモコン使用時にセーブ運転します
◀ ▶　戻る　決定

① を押して「有効」を選択する。

② 決定 を押して設定を保存する。

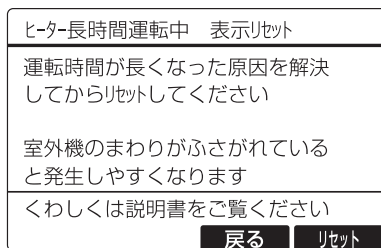
お知らせ

- 決定 を押さないと設定は保存されません。

- 運転中に［ヒーター長時間運転中］と表示されます。

画面表示例

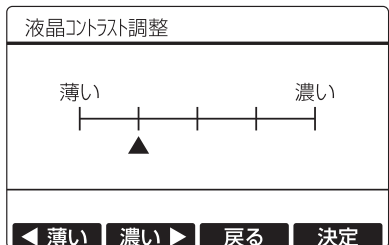
- リセット方法

ヒーター長時間運転中　表示リセット
運転時間が長くなった原因を解決してからリセットしてください 室外機のまわりがふさがれていると発生しやすくなります
くわしくは説明書をご覧ください
戻る　リセット

① リセット を押す。

「ヒーター長時間運転中」の表示が消えます。

お知らせ

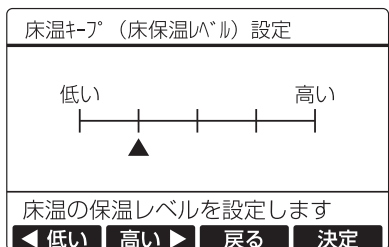
- 「ヒーター長時間運転中　表示リセット」を行うとバックアップヒーターユニット運転時間の積算値が 0 時間にリセットされます。
- リセット を押さないと設定は保存されません。（ヒーター長時間運転中」の表示は消えません）

- 設定方法

① ◀薄い または 濃い▶ を押して濃淡を調整する。

② 決定 を押して設定を保存する。

お知らせ

- 決定 を押さないと設定は保存されません。

- 設定方法

① ◀低い または 高い▶ を押して保温レベルを調整する。

② 決定 を押して設定を保存する。

お知らせ

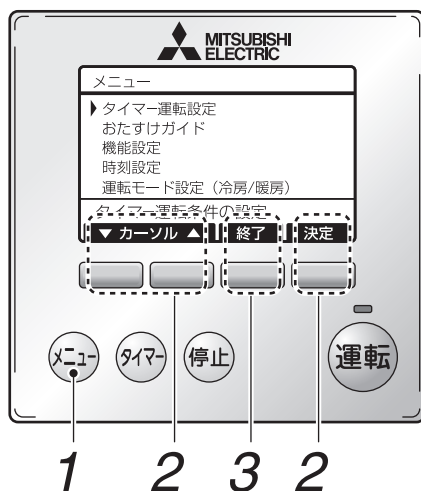
- 決定 を押さないと設定は保存されません。

お知らせ

- 複数のリモコンでそれぞれ設定が可能です。
- 床材の厚みや材質によっては同じ設定でも床温が異なる場合があります。
- 室温が日射などにより設定室温を超える状態でも、床温キープにより床を温めておくことができます。
- 床温を高く保持し続けると、室温が上昇する場合があります。その場合には室温調節を行う前に、床温キープ設定を低くしてください。

- リモコンが床温の上がりすぎを推定したときに、「床過昇防止中」と画面に表示されます。

画面表示例

設定室温や設定水温が高いと、「床過昇防止中」の表示・非表示をひんぱんに繰り返しますので、気になるかたは室温や水温を低めに調節してください。

- 設定方法

床温過昇防止機能設定
低温やけどにならないように床温の上がりすぎを防止します
有効 / 無効
設定範囲：本リモコンのみ

① ◀ ▶ を押して「有効」「無効」を切替える。

② 決定 を押して設定を保存する。

お知らせ

- 決定 を押さないと設定は保存されません。

メニュー画面から選んで設定する　つづき

メニュー画面

1 （メニュー）を押す

[メニュー]画面が表示されます。

2 ▼または▲で設定する項目を選択し、決定を押す

各種の設定項目を表示します。
このメニュー表を参考に、設定を行ってください。

- 前の画面に戻すには 戻る を押してください。

（戻る がない場合は （メニュー） を押してください）

3 終了を押す

[メニュー]画面を終了します。

お知らせ

- 設定の途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動で設定を終了します。（（メニュー）を押す前の画面に戻ります）
  設定途中の内容は保存されませんので、再度設定を行ってください。
- 設定の途中で（メニュー）を押すと設定途中の内容を保存せず、[メニュー]画面に戻ります。

メニュー

時刻設定 ― **時刻設定**

時刻を設定します。
表示は 24 時間形式です。

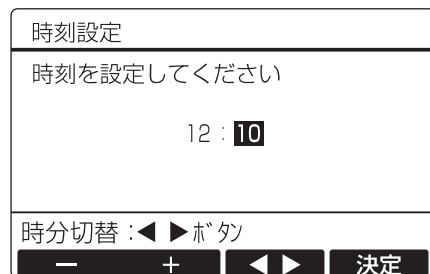
お願い

- 時刻未設定時は「- -:- -」と表示されます。
  必ず設定してください。（タイマー運転できません）
  停電状態が長期間続く場合は、時刻の設定がリセットされます。再度時刻を設定してください。

運転モード設定（冷房／暖房） ― **運転モード設定（冷房／暖房）**

暖房運転と冷房運転を切替えます。
（床暖房システムで冷房機能がある場合のみ）

冷房運転の開始は、冷房用放熱器に接続されているリモコンからの操作となります。

● 設定方法

① [ー] または [+] を押して時間または分を設定する。

② [◀▶] を押して時間と分を切替える。

③ [決定] を押して設定を保存する。

お知らせ

● [決定] を押さないと設定は保存されません。

● 設定方法は[12 ページ]をご覧ください。

こんな表示がでたら

運転中、画面に下記のような表示がでることがあります。
『「故障かな？」と思ったら P.26 』、『異常時の処置方法 P.27 』、『もう一度お確かめください P.29 』など、それぞれの参照先を確認し、適切に対処してください。

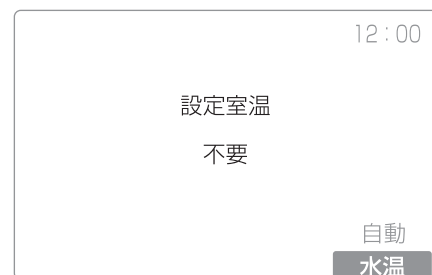
●システムに不具合がある場合に表示されます

運転中の不具合によるエラーコード（例：CH 7109）を表示しています。 P.28

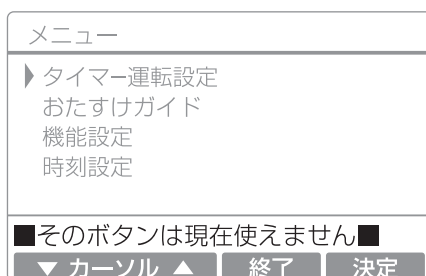
防錆循環液が不足しています。
防錆循環液を補充してください。 P.24

●システムが運転を規制している場合に表示されます

リモコンが床温の上がりすぎを推定したときに表示されます。P.18
（異常ではありません）

「パワーセーブ運転」設定を「有効」にしたリモコンが運転中に表示されます。P.18

運転画面で表示されます。
室温調整はできません。
（据付工事時に設定します）P.10 P.13

●リモコンが所定の操作を受けた場合に表示されます

無効な操作をした場合に、4秒間表示されます。
（ボタンが機能しないことをお知らせしています）

（運転）を3秒以上押したときに5秒間表示されます。P.9
（（停止）の場合は「すべての部屋の運転を停止しました」と表示されます）

●バックアップヒーターユニットが据付けられている場合に表示されます

バックアップヒーターユニットが1日に10時間以上連続運転しています。P.18

バックアップヒーターユニットが運転しているときに表示されます。

日常の点検・お手入れ

ヒートポンプ式冷温水システムを効率よくお使いいただくために、各部のお手入れを行ってください。

⚠注意

- **お手入れの際は運転を停止し、ブレーカーを切る**（感電やけがの原因になります）
- **お手入れの際は手袋を着用する**（着用しないとけがの原因になります）
- **お手入れの際は製品が冷えた状態で行う**（やけどの原因になります）

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
  シンナー、アルコール、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学雑巾の薬剤、クレンザーなどけんま剤入りの洗剤（塗装がはがれたり、変質する原因になります）
- 冷温水配管にあるバルブは操作しないでください。
- 時刻表示はずれることがあります。再度時刻合わせを行ってください。P.20
（ひんぱんにずれる場合はお買上げの販売店にご相談ください）

■リモコンのお手入れ

- やわらかい布でから拭きします。

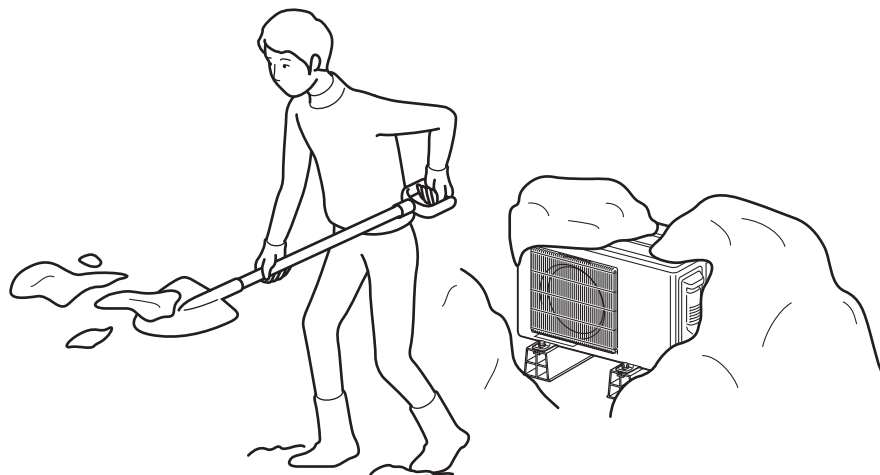
■室外ユニット、熱交換ユニットのお手入れ

- ユニットの外観などの汚れやほこりは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
- 室外ユニットの吸込口や吹出口周辺がふさがると能力低下や故障の原因になります。通気が確保できるように障害物を除いてください。

■冷温水の点検

- 冷房運転時には暖房用放熱器（暖房専用パネルヒーター、床暖房パネルなど）には冷水が流れない構造になっていますが、もし冷房運転中に暖房用放熱器が冷えていたり結露している場合には、冷水が流れている可能性がありますので、使用を中止してお買上げの販売店にご連絡ください。
- 熱交換ユニット本体や配管接続部から防錆循環液が漏れていないか点検してください。

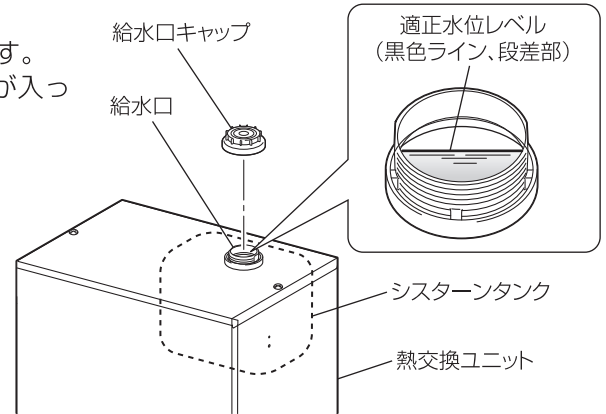
■室外ユニット周辺の除雪

- 降雪地域でご使用の場合、室外ユニットの吸込口や吹出口周辺が雪で埋まることがないように室外ユニット周辺の除雪を行ってください。室外ユニットの吸込口や吹出口周辺がふさがると能力低下や故障の原因になります。（室外ユニットに雨や雪があたりにくい場所への設置をおすすめしています）

防錆循環液の点検

シーズン始めの点検をおすすめします。

■防錆循環液の水位確認と補給（開放式VEH-△△△HCC-Kの場合）

シスターンタンク内の防錆循環液は少しずつ蒸発しますので、定期的な補給が必要です。
適正水位レベルから4cm程度水位が下がっていたら、お買上げの販売店にご連絡ください。
（補給に使用する防錆循環液の費用はお客様のご負担となります）

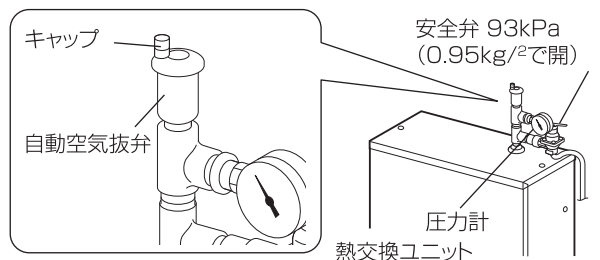
①給水口キャップをはずして防錆循環液の水位を確認します。
②三菱防錆循環液　希釈不要タイプを適正水位レベルまで入れます。
③給水口をのぞいて、タンク内の適正水位レベルまで防錆循環液が入ったか確認します。
④給水口キャップを閉めます。

お願い

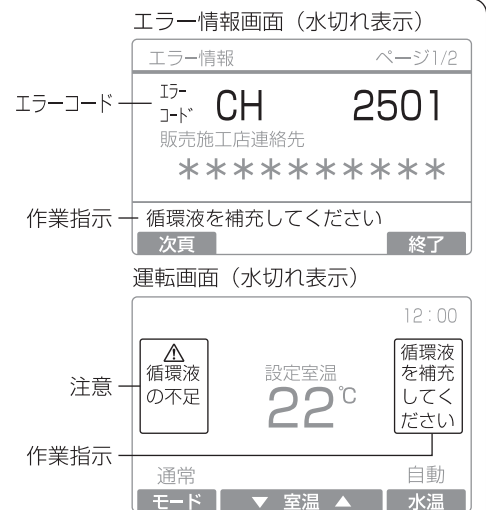
- 水は入れないでください。
（当社指定品 P.25 を使用しないと故障の原因となります）
- 異物が混入しないようにしてください。
- 適正水位レベルを超えて防錆循環液を入れると、運転の際、熱交換ユニット下部のホース（オーバーフローホース）より、防錆循環液があふれ出ることがあります。

■圧力計の指示値の点検（密閉式 VEH-△△△HCC-Mの場合）

圧力計の指示値を確認し、圧力が徐々に下がっていくようであれば、配管内に残っている空気が抜けたか、あるいは防錆循環液が漏れている可能性がありますので、お買上げの販売店にご連絡ください。

〔暖房運転時の圧力計指示値目安 50kPa～80kPa〕

［エラー情報］画面に水切れ表示（下記表示）が表示された場合は、自動空気抜弁のキャップをゆるめて、空気を抜いてから、運転を再開してください。水位の状態によって運転可能な場合があります。

お知らせ

- 防錆循環液が運転に支障を生じるまで不足すると、システムは運転を停止し、［エラー情報］画面 P.28 に右図のように「エラーコード」と「作業指示」が表示されます。
- 運転を再開するためには、すべてのリモコンで 終了 または 停止 を押して画面を解除して運転を再開してください。
  - 運転画面（水切れ表示）のように「注意」と「作業指示」が表示された場合は、防錆循環液の不足具合によっては約10時間運転を継続できます。（VEH-712HCC-K/Mのみ約20時間）
  - 運転できない場合は、再度［エラー情報］画面が表示されます。
  （すべてのリモコンの画面を解除するには、一括停止 P.9 が便利です）
- 防錆循環液の補充は、それぞれ上記手順に従ってください。
- 防錆循環液を補充すると、運転画面の「注意」と「作業指示」の表示が解除されます。

お願い

- 1ヶ月間に数回、水切れ表示となる場合は水漏れの可能性がありますので、熱交換ユニット本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れていないか確認してください。
- 防錆循環液の定期点検
長期ご利用いただくためにも、防錆循環液は2年に1回の点検（液量、濃度）をおすすめします。
お買上げの販売店またはお近くの三菱電機 修理窓口に依頼してください。
（防錆循環液の性能は時間経過により低下し、凍結、破損、腐食の原因になります）

定期点検

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。未然にトラブルを防止し安心してご使用いただくため、シーズン始めなどにお買上げの販売店、またはお近くの三菱電機　修理窓口で点検を受けてください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）
定期点検・交換部品の費用はお客様のご負担となります。

●**定期点検について**
からだの変化や健康の状態を確認する「健康診断」と同じです。どんな状態かチェックすることで、目に見えにくい所のお手入れの時期を見極め、早めの対処を施すことができます。からだの健康を維持することが結果的に経済的であるように、設備も定期的に点検しておくことがお得となります。病気になりにくい身体を維持するために、定期的な点検をお勧めします。なお、点検は長寿命を保証するものではありません。
●主な点検項目：防錆循環液（2年毎）

交換部品

長期間のご使用で、消耗、劣化する部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機 修理窓口にお問合わせください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）
定期点検・交換部品の費用はお客様のご負担となります。

■点検部品と交換部品の目安

〈熱交換ユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
点検・清掃部品	①水フィルター ②防錆循環液（※1） ③密閉膨張タンク	2年毎	①点検・清掃 ②点検（液量、濃度） ③設定圧力（50kPa）
定期交換部品	●防錆循環液（※1）	10年毎	全量交換・配管内洗浄
交換部品	●循環ポンプ　●熱交換器 ●シスターンタンク　●制御基板 ●各種センサー	——	循環ポンプは使用頻度により異なりますが、5年程度で交換が必要な場合もあります。

※1：三菱防錆循環液　希釈不要タイプ（VPZ-01KX-ECO、VPZ-10KX-ECO、VPZ-18KX-ECO）

〈室外ユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●ファンモーター　●圧縮機 ●冷媒回路部品　●制御基板 ●各種センサー　●ヒーター	——	ファンモーターは使用頻度により異なりますが、5年程度で交換が必要な場合もあります。

〈バックアップヒーターユニット〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●電気ヒーター　●制御部品	——	

〈リモコン〉

種　類	部　品	時　期	備　考
交換部品	●制御基板	——	

「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。こんなときは故障ではありません。

故障かな?（症状）	お答えします。（原因）
室外ユニットが運転しない。 暖まらない。 （外気温度が低いとき）	■外気温度がおよそ－20℃を下回っているときに、運転を開始しようとすると室外ユニット保護のため、室外ユニットは運転しません。 また運転中に外気温度が－25℃を下回った場合など、保護のため、室外ユニットの運転が停止することがあります。 外気温度が上昇すると室外ユニットは自動的に運転を開始します。
リモコンの運転ランプが点滅する。	■外気温度が－25℃を下回っていることをお知らせしています。 （室外ユニットが停止することがあります）
暖房運転中、室外ユニットの運転が10分ほど止まる。	■室外ユニットについた霜をとかしています。（霜取運転） 長くて10分で終了しますのでそのままお待ちください。 （外気温度が低く、湿度が高いときに霜がつきます） 但し、温水循環方式のため、その間も暖房はとぎれません。
室外ユニットから水または水蒸気が出る。	■暖房時に、霜取運転でとけた水または水蒸気が出るためです。 ■暖房時に、熱交換器についた水が滴下するためです。 ■冷房時に、冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。
暖房運転停止操作後、しばらく（5～10分ほど）室外ユニットが運転している。	■停止前に霜取運転を開始したためです。 霜取運転終了後停止します。
水の流れるような音やプシュという音がする。	■冷温水や冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるとき（霜取運転など）の音です。
よく暖まらない。 よく冷えない。 ［エラー情報］画面が表示され「0A4400」または「0B4400」と表示される。 （エラーコード表示）	■床暖房やパネルヒーターを同時に複数のお部屋で暖房運転をすると、温水温度が低下し床暖房やパネルヒーターの暖まりが弱くなることがあります。運転開始する時間をずらして利用してください。 ■外気温度が低いとき、暖まりにくい場合があります。 ■雪が積もって室外ユニットの吸込口や吹出口周辺をふさいでいることがあります。除雪してください。 ■設定室温が低いまたは、設定水温が低いと暖まりにくい場合があります。 ■外気温度が高いとき、冷えにくい場合があります。
すぐに暖まらない。 すぐに冷えない。	■冷温水循環方式のため、長時間停止した状態からの運転開始時には、水を温めたり冷やすために時間がかかることがあります。 ■床暖房やパネルヒーターなどのふく射冷暖房の場合、室温の変化に時間がかかります。
再運転をしても、 3分間ほど動かない。	■室外ユニットの保護のため、止まっています。 3分たてば運転しますので、そのままお待ちください。
時計の表示が「 --:-- 」となっている。	■停電状態が長期間続く場合は、時刻の設定がリセットされます。 再度時刻を設定してください。P.20
「システムと通信中」と表示される。	■リモコンがシステムと通信しています。 （通信が完了したら自動復帰します）

■異常時の処置方法

表示	原因	処置
運転ランプが点灯しない。 液晶表示部に表示が出ない。	電源が入っていない。	熱源機の電源(ブレーカー)を入れる。 再度切れる場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
	リモコン接続コードがはずれている。	お買上げの販売店にご連絡ください。
「床過昇防止中」と表示される。(運転中)	床温が上がりすぎであることを推定した。	一時的に運転を止め、加熱を防ぎます。 運転に支障はありません。 ひんぱんに表示されるときは、水温を「自動」設定にするか、「手動」設定で低めにしてください。 P.11
「循環液を補充してください」と表示される。 [エラー情報]画面が表示され「CH　2501」と表示される。(エラーコード表示)	防錆循環液が不足している。	●熱交換ユニット本体や配管接続部から防錆循環液が漏れていないか確認してください。 ●防錆循環液の補充が必要です。 お買上げの販売店にご連絡ください。 ●一旦すべてのリモコンを停止させた後、運転を再開してください。防錆循環液の不足具合によっては、約10時間(VEH-712HCC-K/Mのみ約20時間)運転を継続できます。(運転できない場合は再度エラーコードを表示します)
運転ランプが点灯し、液晶表示もするが温まらない。	システム内部の設定が間違っている。	お買上げの販売店にご連絡ください。
[エラー情報]画面が表示されエラーコードが表示される。	システムの異常が発生している。	すべてのリモコンの表示内容をご確認の上、お買上げの販売店にご連絡ください。 リモコンの表示が消えた場合は、『過去のエラー内容を表示する』P.28 にて確認することができます。 ●エラーコードが「CH 5102」または「OA 5101」または「OB 5101」と表示された場合は、システムは暖房運転･冷房運転を継続しています。 ただし、室温調節、水温調節はできません。 (「CH 5101」は運転停止します)
注意表示 「ヒーター長時間運転中」が表示される。	●バックアップヒーターユニットの運転時間が長い。 (1日10時間以上) ●積雪などで室外ユニットの吸込口や吹出口周辺がふさがれている。	●室外ユニット周辺をご確認ください。 ●表示解除後、それでもひんぱんに表示される時は、お買上げの販売店にご連絡ください。 表示は『ヒーター長時間運転中表示リセット』P.18 にて解除できます。

「故障かな?」と思ったら　つづき

過去のエラー内容を表示する

お買上げの販売店などへ不具合のご相談を行う際、ご相談先に不具合内容とあわせてエラーコードを伝えるときに表示させせます。

お知らせ

不具合が発生した場合、リモコンに［エラー情報］画面が表示されます。
- 不具合内容を「エラーコード」として表示し、自動的に記録します。
- 終了 または 停止 を押すか、不具合を解消すると、画面は解除されます。

※画面を解除した後、運転を開始した時に、再度［エラー情報］画面が表示される場合は、不具合が解消されていないため、エラーコードの内容をご確認の上、お買上げの販売店にご連絡ください。
（［エラー情報］画面が再表示されない場合は、不具合は解消されています）

1
メニュー を押す

［メニュー］画面が表示されます。P.16

▼ または ▲ を押して「おたすけガイド」を選び、決定 を押す

［おたすけガイド］画面が表示されます。

メニュー
タイマー運転設定
▶おたすけガイド
機能設定
時刻設定
電気代や使い方のアドバイス
▼ カーソル ▲　終了　決定

2
▼ または ▲ を押して「こんなときどうする？」を選び、決定 を押す

［こんなときどうする？］画面が表示されます。

おたすけガイド
電気代が知りたい
もっと暖めたい
もっと節電したい
▶こんなときどうする？
その他のアドバイス
▼ カーソル ▲　戻る　決定

3
▼ または ▲ を押して「過去のエラーを知りたい」を選び、決定 を押す

［過去のエラーを知りたい］画面が表示されます。

こんなときどうする？
「循環液の不足」の表示が出た
室外機から水や水蒸気が出た
▶過去のエラーを知りたい
その他の不具合の連絡先
▼ カーソル ▲　戻る　決定

4
戻る を押す

［こんなときどうする？］画面に戻ります。

戻る を押す

［おたすけガイド］画面に戻ります。

戻る を押す

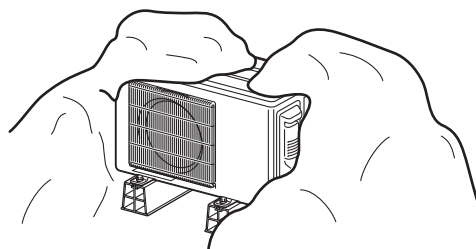
［メニュー］画面に戻ります。P.16

過去のｴﾗｰを知りたい
ｴﾗｰｺｰﾄﾞ CH 7109
戻る

お知らせ

- 設定の途中で約10分間ボタン操作がない場合、自動で メニュー を押す前の画面に戻ります。

■もう一度お確かめください

こんなときには		お確かめください
動かない。		■ブレーカーが切れていませんか。
よく暖まらない、冷えない。		■温度の設定が適切になっていますか。 ■ひかえめ運転になっていませんか。 ■室外ユニットの吸込口や吹出口周辺をふさいでいませんか。 降雪地域では雪で埋まっていないか確認してください。 ■パネルヒーターのバルブを閉じていませんか。 ■お部屋のドアや窓が開放になっていませんか。 ■水温設定が低すぎる（高すぎる）設定になっていませんか。 ■床温キープ設定が低すぎる設定になっていませんか。
設定した運転モード（冷房/暖房）で運転しない。 （床暖房システムで冷房機能があるの場合のみ）		■メニュー画面から再度設定してください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、お買上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

■電波の弱い地域では、テレビ・ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合は増幅器などの取付けをおすすめします。

■雷が鳴り出したら、早めに運転を止め、ブレーカーを切ってください。（電気部品が損傷することがあります）

保証とアフターサービス

ヒートポンプ式冷温水システムのアフターサービスは、お買上げの販売店にご相談ください。

保証書

■保証には、必要事項が記載された「保証書」のご提示が必要です。
■保証書は、必ず「施工チェックシート・お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。未記入の場合、保証対象外となります。
■内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保 証 期 間……お買上げ日から2年間
保証の対象……「ヒートポンプ式冷温水システム」を構成する当社製の機器
保証の範囲……構成機器におけるシステム設計・施工に起因しない機能部品の故障に関わるサービス
（詳しくは「保証書」をご覧ください）

補修用性能部品の保有期間は

■当社は、ヒートポンプ式冷温水システムの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

『「故障かな？」と思ったら』・『もう一度お確かめください』にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの三菱電機 修理窓口にご連絡ください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）
ご連絡の際にはリモコンの表示内容を合わせてお伝えください。

■保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. ヒートポンプ式冷温水システム
2. 形名 VEH-304HCC-K、VEH-406HCC-K/M、VEH-507HCC-K/M、VEH-712HCC-K/M
3. お買上げ日
4. 故障内容（できるだけ具体的に）
5. 住所・名前・電話番号　付近の目印なども

■機器に含まれる冷媒（フロンガス）について

	この製品は最大でCO_2（温暖化ガス）5,300kg※に相当するフロン類が封入されています。 地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。 ※VEH-712HCC-K/Mの値です。VEH-304HCC-Kは2,450kg、 VEH-406HCC-K/Mは2,650kg、VEH-507HCC-K/Mは3,250kgとなります。

この表示は本製品に温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。製品の取りはずし時はフロン類の回収が必要です。
廃棄時には販売店等に引き渡しをしていただければ確実にフロン類の適正処理がなされます。

アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの三菱電機 修理窓口にご連絡ください。
（修理窓口の連絡先は「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」（別紙）をご覧ください）

■ご相談窓口

三菱電機お客さま相談センター　電話0120-139-365（無料）

MEMO

お客さま メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　　　名	
	お買上げ年月日	年　　　月　　　日
	お買上げ店名 （住　　所） （電話番号）	（　　　　）

仕様

仕様＼形名 熱源機		熱交換ユニット 室外ユニット	VEH-304HCC-K VEH-304HPC (-H)	VEH-406HCC-K VEH-406HPC (-H/HL)	VEH-507HCC-K VEH-507HPC (-H/HL)	VEH-712HCC-K VEH-406HPC (-H/HL)
電　源			単相　200V			
暖房能力〈kW〉			4.0	6.0	7.0	11.8
冷房能力〈kW〉			3.0	3.6	5.0	7.2
消費電力〈kW〉			暖房1.0（最大1.9） 冷房1.2	暖房1.5（最大2.7） 冷房1.285	暖房1.75（最大3.1） 冷房2.17	暖房2.95（最大5.3） 冷房2.57
運転電流〈A〉			暖房6.2（最大11.0） 冷房7.0	暖房8.6（最大15.0） 冷房7.5	暖房9.9（最大17.0） 冷房12.1	暖房16.8（最大29.0） 冷房14.7
運転音〈dB〉	熱交換ユニット		暖房29　冷房29	暖房29　冷房29	暖房29　冷房29	暖房29　冷房29
	室外ユニット		暖房48　冷房47	暖房52　冷房51	暖房52　冷房51	暖房52　冷房51（1台あたり）
質　量〈kg〉	熱交換ユニット		11	12	13	16
	室外ユニット		32	34	41	34（1台あたり）
外形寸法〈mm〉	熱交換ユニット		高さ430×幅370×奥行230	高さ430×幅370×奥行230	高さ430×幅370×奥行230	高さ430×幅490×奥行230
	室外ユニット		高さ550×幅800×奥行285	高さ550×幅800×奥行285	高さ630×幅809×奥行300	高さ550×幅800×奥行285

仕様＼形名 熱源機		熱交換ユニット 室外ユニット	VEH-406HCC-M VEH-406HPC (-H/HL)	VEH-507HCC-M VEH-507HPC (-H/HL)	VEH-712HCC-M VEH-406HPC (-H/HL)
電　源			単相　200V		
暖房能力〈kW〉			6.0	7.0	11.8
冷房能力〈kW〉			3.6	5.0	7.2
消費電力〈kW〉			暖房1.54（最大2.7） 冷房1.285	暖房1.795（最大3.1） 冷房2.17	暖房2.95（最大5.3） 冷房2.57
運転電流〈A〉			暖房8.8（最大15.0） 冷房7.5	暖房10.1（最大17.0） 冷房12.1	暖房16.8（最大29.0） 冷房14.7
運転音〈dB〉	熱交換ユニット		暖房26　冷房26	暖房26　冷房26	暖房26　冷房26
	室外ユニット		暖房52　冷房51	暖房52　冷房51	暖房52　冷房51（1台あたり）
質　量〈kg〉	熱交換ユニット		12	13	16
	室外ユニット		34	41	34（1台あたり）
外形寸法〈mm〉	熱交換ユニット		高さ430×幅370×奥行230	高さ430×幅370×奥行230	高さ430×幅490×奥行230
	室外ユニット		高さ550×幅800×奥行285	高さ630×幅809×奥行300	高さ550×幅800×奥行285

項目	内容
循環液仕様	三菱防錆循環液　希釈不要タイプ
冷　媒	R410A

※性能は熱源機に接続される放熱器の構成により異なります。また外気温度などによっても異なります。
※停止時の消費電力は約7Wです。
※運転音は反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に取付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け、表示数値より大きくなることがあります。
※室外ユニット凍結防止ヒーターの消費電力は100Wです。（-H、-HLタイプのみ）
※VEH-712HCC-K/Mの暖房／冷房性能は室外ユニット2台組合せ時の性能です。
　運転音は1台あたりの性能値です。2台組合せ時は＋3dBとなります。

仕様＼形名	バックアップヒーターユニット VEZ-20HT2
電　源	単相　200V
消費電力〈kW〉	2.0
運転電流〈A〉	10
質　量〈kg〉	5.2
外形寸法〈mm〉	高さ365×幅204×奥行150

仕様＼形名	リモコン　VEZ-01RCC
消費電力〈W〉	0.380以下
通信距離〈m〉	総延長　100
質　量〈g〉	250
外形寸法〈mm〉	高さ120×幅120×奥行19

※ご使用のシステム構成により、バックアップヒーターユニットが据付けされない場合があります。

愛情点検

☆長年ご使用のヒートポンプ式冷温水システムは点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- こげ臭いにおいがする。
- 運転音が異常に大きくなる。
- 冷房運転時に暖房専用放熱器が結露する。
- 漏電遮断器、ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、ブレーカーを切って必ずお買上げの販売店に点検、修理をご相談ください。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。